

仕 様 書

1 自動販売機の規格及び条件

- (1) 大きさ
設置面積（回収ボックスの設置面積を含む。）は、貸付面積の範囲内とし、高さは1.85m以内とすること。
- (2) 環境対策
 - ① 省エネ
「照明の自動点滅・減光」、「学習省エネ」、「ピークカット」、「真空断熱材やヒートポンプ採用」など、消費電力量の低減に資する技術等を導入した機種とすること。
 - ② ノンフロン
二酸化炭素又は炭化水素を冷媒として採用した機種とすること。
ただし、代替フロン（地球温暖化対策の推進に関する法律による）を認める。

2 遵守事項

- (1) 安全対策
 - ① 転倒防止
「JIS B 8562-1996 自動販売機-据付基準」（JIS規格）及び「自動販売機据付規準」（清涼飲料自販機協議会作成）を遵守した措置を講じるものとする。
 - ② 防 犯
硬貨選別装置及び紙幣識別装置のプログラム改変により、偽造通貨の使用による犯罪の防止に万全を尽くすものとする。
また、屋内設置であっても「自販機堅牢化基準」（日本自動販売機工業会作成）を遵守し、犯罪防止に努めるものとする。
- (2) 使用済み容器の回収 ※回収ボックスを設置する場合
 - ① 回収ボックスの設置
自動販売機脇に回収ボックスを必要数設置し、設置者の責任で適切に回収・リサイクルすること。
 - ② 回収ボックスの規格
 - ア 素 材
プラスチック製又は金属製とすること。
 - イ 容 積
回収頻度と回収量を考慮し、回収ボックスから空き缶等の使用済み容器が溢れたり、周囲に散乱しない十分な収容容積とすること。
 - ウ その他
使用済み容器以外の投入を禁止する旨の表示をするほか、使用済み容器投入口は一般ゴミが入りにくい構造のものとし、使用済み容器と一般ゴミの混入防止を図ること。
- (3) 自動販売機の管理運営
 - ① 設置者において、商品の補充及び変更、消費期限の確認、売上金の回収及び釣り銭の補充並びに自動販売機内部・外部及び設置場所周辺の清掃などを行うこと。
 - ② 設置者において、専門技術サービス員による保守業務を随時行い、維持に努めるほか、故障時には即時対応すること。

3 販売商品の種類等

- (1) 販売品目
お茶、水、炭酸飲料、コーヒー、紅茶、ジュース類の缶又はペットボトルなどの密閉式容器入りの飲料とし、酒類の販売は行わないこと。
- (2) 販売価格
 - 例1) 標準小売価格を上回らない価格とすること。
 - 例2) 標準小売価格から10円下げた価格とすること。

4 売上状況の報告

- 毎年10月末日及び4月末日までに賃貸借契約に係る前月までの売上状況（月別の販売数及び売上金額）を報告すること。